



獲物を運ぶクロアナバチ

クロアナバチ



産卵用の巣穴

アナバチ科

体長 25 ~ 30mm

地中に穴を掘り、捕まえて麻痺させたキリギリス科の虫を運び込み、卵を産む。

ミツバチ の仲間

女王バチを中心に多くの働きバチとともに社会生活を送る。働きバチが花の蜜を集め巣に貯蔵する生態を利用し、養蜂業が成り立っている。



ニホンミツバチ

ミツバチ科 体長 10 ~ 11mm



木のうろに巣がある

セイヨウミツバチに比べ、体色が全体的に黒い。木のうろなどに巣をつくる野生種だが、一部で養蜂も行われている。



セイヨウミツバチ

ミツバチ科 体長 11 ~ 12mm



肢に花粉をつけて運ぶ

ニホンミツバチよりずっと多い。ヨーロッパ原産で、養蜂業のために移入されたもの。通常、専用の箱で飼育されている。



クマバチ

ミツバチ科 体長 20 ~ 22mm



幼虫

大きな体で翅音を立てて飛び、怖そうだが性格はおとなしい。社会生活は行わない。枯枝などの中に部屋をつくり、幼虫の餌として蜜や花粉を詰め産卵する。